



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴鳥イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

右脳による数学的思考のすすめ

教頭 鎌田 英彦

論理的思考や言語能力は左脳が司ると言われる。百マス計算の単純計算も左脳だ。こう書くことで「数学の得意な人は左脳が発達しているのか」と思われそうだが、それは違う。実は、本来の意味での数学的思考や理解は、直感やイメージ、空間認識などの右脳が司る領域に依るところが大きいのだ。

私は、数学が好きだ。自分は本当に好きだなあと思っている。一つの問題が、特に印象深いのは、一つの問題の解決法が閃いた瞬間の感覚である。「1から97までの数字を7または9の間隔で並べかえよ」という極めて単純な問題だった。単純だが正攻法では膨大な時間を要する。機械的に並べ換えていくなら、一秒間に千兆回並べるとして地球が一秒するまでには終わらない。私は、三日三晩考えた。半眠半醒の朦朧とした意識の中で、ふと彼方から「一筆描き」のイメージが浮かんできた。ぼんやりとそのイメージを動かす中で、パツと閃いた。これだ！と一気に目が覚め、解へ向けて突き進んだ。あとのきの閃きの感覚やワクワクした気持ちは今も忘れない。この感覚を味わえて良かったと思うし、何回でも味わいたい。

長年、数学教師として生徒に接し、自分が味わった楽しさを一人でも多くの生徒に実感させたいと願ってきた。本校でも何人も生徒達が、黒板をじっと見つめ、全体を俯瞰しつつイメージを膨らませ、「閃き」を楽しむ姿に立ち会うことが出来た。しかし、私自身も言葉で伝えきれず「閃き」の喜びまで到達させてやれないもどかしさもイヤというほど感じている。左脳分野の鍛錬をもう少しすべきであらうと思う。

今この鶴丸生を見ていると、左脳分野にあたる文章表現や論理的なスピーチなどは本当にすばらしい。諸君の作文から感動をもらい、羨ましさを感じている。だからこそ、諸君に右脳の鍛錬を勧めたい。時間をかけて一つの問題に対峙し、試行錯誤して様々なアプローチを繰り返して果てた末の「閃き」に出会う機会を持つて欲しい。「分かる」ことの本当の嬉しさを経験し、「出来る」ことの楽しさを味わって欲しい。そうすれば、諸君の豊かな思考力、表現力を駆使し、私には到達し得ぬ領域に進んでいけるだろうと思う。

一学年講演会

5月18日(月)



本校51期生であり総合格闘技DEEPライト級王者である菊野克紀さんを講師にお招きして、2年生合同LHRの講演会が実施された。

中学時代の話から総合格闘家となり王座を獲得するまで、また格闘家としてだけにとまらない今後の夢についてお話しくださった。柔道部に入部し、市内大会で優勝して勝つ喜びを知った中学時代。高校でも続けた柔道で2年生のときに県大会で優勝し、九州大会で3位に輝いて得た自信。3年生となった迎えた最後の高校総体で、優勝候補といわれたが、県大会の初戦で1年生に敗退した苦しい経験。このまま自分の限界を知ることなく、この悔しさを抱いたまま一生を過ごすのかと思ったときに「格闘家」になろうと思ったそうである。高校卒業後、極真空手の門を叩き世界チャンピオン木山仁さんの下で修行し自分より強い兄弟子たちに勝つまでは総合格闘技の道に進んでも大成できないと思ひ6年の歳月を費やしてやっと兄弟子たちに勝つことができた。どうせやるなら一番強いジムに所属して自分を鍛えたいという思いから上京。アルバイトで生計を立てながら、総合格闘技をはじめて三年で王者となったそうである。

その間選手生命を絶たれるような大きな怪我也有り、すべてが順調だったわけではないが、「怪我をしたからチャンピオンベルトを持つて帰ることができた。辛いからこそ得るものもある。」という言葉にこれまでの苦労とそれを乗り越えるための努力とがにじみ出ていた気がする。今後は、総合格闘家としてはもちろんだが、故郷・鹿児島のためにできることを模索しているということであった。「鹿児島から日本を、日本から世界を元気に」という言葉をスローガンにして、格闘家だけにとまらない活動をしていく予定だということであった。本校の校是でもある「For Others」を世界レベルで展開していることとしている菊野さんの純粋で真っ直ぐな思いに多くの生徒たちが感銘を受けたようであった。講演のあったの生徒たちが輝いた目が彼らが手に入れた感動の大きさを物語っていた。

PTA総会

5月13日(水)、PTA総会が開かれ、前年度会務報告及び決算報告、今年度事業計画案及び予算案、新役員を選出などについての協議が行われすべて承認された。

学校の現況報告では、保護者による学校評価の分析と学校としての対応や携帯電話を子どもに持たせる際の留意事項についての説明があった。総会後、今回退任されたPTA副会長を二年間・PTA会長を一年間引き受けてくださった水流通さん、PTA副会長を七年間引き受けてくださった飯尾加恵子さん、PTA監事を二年間引き受けてくださった藤本徳昭さんに、感謝の意を表してそれぞれ感謝状と記念品が贈呈された。

- 会長 湯浦 一徳氏
副会長 松元 真吾氏
監事 阿多利 仁氏
岩倉 ひろみ氏

二・三年生集団読書

5月18日(月)に三年生、25日(月)に二年生の集団読書会がそれぞれ行われた。今回の対象作品は三年生が川上健一の『雨降る川』、二年生が横山秀夫の『出口のない海』であった。各クラスの委員長・副委員長が中心となり実施計画案を準備し、当日に備えた甲斐があったようである。

なお、一学年は6月1日(月)に立花隆の『青春漂流』を用いて集団読書会を行う予定である。作品をしっかり読み込み、それぞれが自らの考えを述べ、充実した読書会となることを期待したい。

交通安全教室

5月22日(金)、鹿児島警察署交通課長代理の北久人さんを講師にお招きして交通安全教室が実施された。



全国的には交通事故死亡事故が減少傾向にあるなかで鹿児島県は、昨年末から事故が多発しており危機的な状況にあるという。また、昨年は高齢者の事故が多かったのに対し、今年には若い人たちの事故が多いそうである。

なかでも、中学生による自転車の事故が増えていることであった。事故にあつた者のほとんどが誤った自転車の乗り方をしていたということ、事故を防ぐためには一人ひとりが交通安全について考え、交通マナーを守ってもらいたいということであった。本校でも多くの生徒が通学に自転車を利用して、交通マナーを守り、かつ時間に余裕をもって日々安全に過ごしてほしいものである。

☆自転車安全利用のために

- 1 自転車は、車道が原則
2 車道は左側を通行
3 歩道は歩行者優先で車道寄りを行く
4 二人乗り・並進の禁止
5 夜間はライトを点灯
6 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認



新型インフルエンザについて

メキシコで発症後世界全土へと感染が拡大した新型インフルエンザ。症状はあまり重くはなく、また感染力の波は次第に収束に向かっているようではありますが、インフルエンザが猛威を振るう冬にかけて第二波の到来も予想されます。その予防法についてはこれまでも再三お知らせされているとは思いますが、再度確認・徹底し予防に努め、健康な生活を送りましょう。



- 1 石鹸による手洗い
2 うがいとこまめにする
3 部屋の換気を頻りに行なう
4 人の多い場所に行かない
5 時や、咳・くしゃみのある時はマスクを着用する。(咳エチケット)
5 睡眠をしっかりととり抵抗力をつける。

6月の行事予定

Calendar table for June with dates and activities. Includes items like '全校朝会 中間考査時間割発表 集団読書(1年)', 'PTA総務部・学年代表者会', '水泳前健康診断(16:00~)', '3年進研マーク', '中間考査(1日目)', '中間考査(2日目)', '中間考査(3日目) 中高連絡会 学校安全の日', 'クラスマッチ(午後)', 'クラスマッチ(終日)', '第1回英検一次試験', '全校朝会', '悠学講座① 3年小論文模試(午後)', '学年朝会', '保健講話(13:30~14:30)', '全校朝会 実力考査時間割発表'.

定期時間調査(平常授業)